

報告書の骨子（案）

◇ 基本的な考え方

- 保育士の職業は魅力にあふれている。保育人材の確保には、職業の魅力を伝え、保育の現場・職場の魅力を高めていくことが重要。

◇ 保育士の職業・保育の現場の魅力向上のための具体的な方策

1. 保育士の職業の魅力の発信の向上

保育士の専門性等について保護者等の理解を深め、職業の魅力を発信していく。

- 保育所を「開く」、保育参加を呼びかける
 - ・ 保護者や地域の住民に保育所を積極的に開く（職場体験・ボランティア等含む。）。
 - ・ 子育ての楽しさや奥深さを知ってもらうため、保護者に保育参加を呼びかけ。
- 保育実習を含め養成校の教育の充実と改善
 - ・ 養成校と保育所双方の実習指導担当者の共通研修等を実施。
- 保育の魅力発信のための基盤の構築やコンテンツの発信
 - ・ HP や SNS、マンガ等のコンテンツを活用し、国や養成校の団体等が魅力を発信。

2. 生涯働ける魅力ある職場づくり

保育の振り返り等を行うためのノンコンタクトタイムを確保し、「子ども理解」を中心に職員間で語り合える環境や働きやすい職場づくりを進める。

- 働き方改革の推進
 - ・ 保育士の働き方改革支援コンサルタントによる巡回支援や働き方に係る研修の推進。
 - ・ 保育士のキャリアパスの明確化や柔軟な勤務形態の推進、役割・能力に応じた処遇。
- 業務効率化や業務改善の推進
 - ・ ICT や保育補助者の更なる活用。業務改善のガイドラインの作成。
- 保育の質の向上、個々の保育士への支援、シニア人材の活用の推進、処遇改善
 - ・ 魅力ある保育を展開するため、公開保育や外部評価の受審等の推進。
 - ・ オンライン研修の推進等、研修に参加しやすい環境づくり。
 - ・ 保育士が外部人材に相談しやすい環境整備の検討。シニア人材の活用の推進。
 - ・ 保育士の処遇改善等について財源確保と併せ検討。

3. 保育士資格を持つ方と保育所とのマッチングの改善

- 保育士・保育所支援センターの機能強化、ハローワーク、養成校や保育団体とのネットワークの構築
 - ・ 保育士・保育所支援センターの機能強化や関係機関とのネットワーク構築。
 - ・ 学生等の資格取得支援や現役保育士の就業継続支援を行う。
- 「潜在保育士」の把握、保育士・保育所支援センターへの登録の推進
 - ・ 保育士・保育所支援センターの認知度向上の取組。
 - ・ 保育士離職時の住所等の登録の努力義務化も含め、潜在保育士の把握方法の検討。